

レッツ工事台帳 Pro

Version 7.3

追加操作マニュアル



LET'S

目次

1	終了時自動バックアップ	2
2	見積書の Excel への書き出し	3
3	FB (ファームバンキング) 用データの書き出し	4
4	工事リスト (経歴書項目を含む) の書き出し	6
5	部門毎集計	7
6	工事分類順の出力	10
7	仕訳伝票転記の設定追加	12

本マニュアルでは、平成 17 年 12 月のリビジョンアップに伴う追加機能のみを解説しております。その他の機能および基本的な操作方法につきましては「レッツ工事台帳 Pro 操作マニュアル」および「仕訳伝票転記マニュアル」でご確認いただけますようお願いいたします。

※ Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ 「OFFICE BANK」は株式会社オービックビジネスコンサルタントの登録商標です。

※ 「バンクナウ」は弥生株式会社の登録商標です。

※ 「PCA 電子通帳」はピーシーエー株式会社の登録商標です。

※ 「FB-Win4」は松下電器産業株式会社の登録商標です。

1

終了時自動バックアップ

メインメニュー → マスター保守 → 環境設定 → 「運用」タブ



概要

バックアップのし忘れを防ぐことができます。

また、LAN 版ではサーバの種類を選択できます。

この設定は、環境設定 → [運用] タブの「データ複写設定」で行います。

The screenshot shows the '環境設定' (Environment Settings) dialog box with the '運用' (Operation) tab selected. The 'データ複写設定' (Data Backup Settings) section is highlighted with a red box. The 'データ複写設定' checkbox is checked, and the 'サーバの種類' (Server Type) dropdown is set to 'Windows'. The '印刷設定' (Printing Settings) section is also visible, with the '印刷時のフリック切替' (Toggle during printing) set to 'する' (Do).

● スタンドアロン版
(1台で使用)の場合の表示

● LAN版(複数台で使用)の場合の表示



設定項目

終了時にデータ複写を実行する

ON (☑) 「レッツ工事台帳」終了時(LAN環境の場合、最後まで起動していたユーザーが「レッツ工事台帳」を終了するとき)に、自動的に「データ複写(バックアップ)」が起動します。

OFF (☐) 「レッツ工事台帳」終了時に、「データ複写(バックアップ)」は起動しません。メニューバー「ファイル」→「データ複写(バックアップ)」よりデータ複写を行ってください。

サーバーの種類 Windows: 通常はこちらを選択してください。
(LAN版のみ) Windows以外: サーバーにNAS(Network Attached Storage)等のWindowsPC以外のものを使用している場合、こちらを選択してください。



概要

「レッツ工事台帳」で作成した見積書の内容を Microsoft® Excel に出力する機能が追加されました。

- ❗ Excel 書き出し機能を使うには、お使いのパソコンに Microsoft® Excel 2000 以降がインストールされている必要があります。

■ Excel 対応バージョン

Excel 2000, 2002, 2003

■ 書き出し可能書式

見積書 表紙 金額 2 段 (A4 横) / 見積書 表紙 金額 3 段 (A4 横) /
 見積書 表紙 金額 1 段 税抜 (A4 横) / 見積書 表紙 金額 1 段 税込 (A4 横) /
 見積書 内訳明細書 (A4 横) / 見積書 (A4 縦) /
 見積書 表紙 オリジナル 1 (A4 横) * / 見積書 表紙 オリジナル 2 (A4 横) *

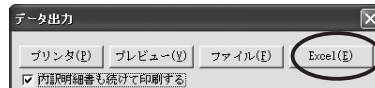
- 「ライセンス認証」モードでの書き出しはできません。(Excel 2002 以降)
- Excel が正常に起動できない場合、書き出しはできません。
- Excel の標準フォントが「11」以外の設定で、起動している状態のときは、正常に書き出しされません。

※ オリジナル表紙を選択した場合は、「見積書 表紙 金額 3 段 (A4 横)」と同じものが書き出されません。



操作

- ① Excel に書き出す見積書を選択または新規作成し、印刷書式を選択します。
- ② **印刷[F8]** をクリックすると、右のように表示されます。
- ③ **Excel[E]** をクリックすると、自動的に Excel が起動し、新規の Book に書き出されます。



- ❗ 既存の Excel Book に追加書き出しすることはできません。
- ❗ 書き出される Excel Book は保存されていません。保存は Excel のメニューより行ってください。



書き出し結果

表紙のみの場合

→ 新規の Book の一番左に [表紙] という Sheet で書き出されます。

内訳明細書の場合

→ 新規の Book の一番左に [明細] という Sheet で書き出されます。

表紙印刷時に「内訳明細書も続けて印刷する」にチェックをした場合

→ 新規の Book の一番左に [表紙]、その右に [明細] という Sheet で書き出されます。

A4 縦の場合

→ 新規の Book の一番左に [見積書 (A4 縦)] という Sheet で書き出されます。

- お使いのパソコンの環境によっては、書き出しに時間がかかる場合があります。
- 書き出される Excel Book の Sheet 数は、Excel の設定によって異なります。
- OS によって、書き出し結果が画面の前面に表示されない場合があります。

3

ファームバンキング

FB用データの書き出し

メインメニュー → 支払査定 → 支払金額査定 → 区分別支払予定表[F5]

概要

区分別支払予定表のデータを、ファームバンキングソフトに読み込み可能なテキストデータとして書き出すことが可能になりました。

❶ 出力形式は全銀協フォーマット対応のみとなります。

■対応ソフト

全銀協フォーマットデータを扱うことができるファームバンキングソフト
《動作確認済ソフト》

- OFFICE BANK21 (株式会社オーピックビジネスコンサルタント)
- PCA 電子通帳 V.2 (ピーシーエー株式会社)
- バンクナウ (弥生株式会社) • FB-Win4 (松下電器産業株式会社)

操作

❶ 支払金額査定 → 区分別支払予定表[F5] で区分別支払予定表を作成または表示します。

❷ FB作成[F12] をクリックすると右の画面が開きます。

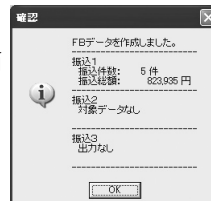
❸ 各項目を入力し (→次頁 入力・設定項目)、実行[F9] をクリックします。

❹ 下の確認メッセージが表示されます。



❺ **[F12]** を押すと❸の設定情報が保存され、FB用のデータが書き出されます。

❻ FB用データの書き出しが終了すると、右の確認画面が表示されます。内容を確認し、**[OK]** をクリックします。



● 出力データがある場合は振込件数と振込総額の合計が表示されます。データがない場合「対象データなし」、設定画面の「出力」= OFF (□) の場合は「出力なし」と表示されます。

🔔 ファームバンキングソフトでのデータの読み込み処理は、ご使用ソフトのマニュアルをご参照ください。



入力・設定項目

振込1 / 2 / 3 自社の振込元銀行口座の情報を区分別支払予定表の「振込1」「振込2」「振込3」に対応させて登録します。

出力する チェックON (☑) の場合のみデータを出力します。

振込依頼人コード 半角数字 10 桁以内で登録します。

振込依頼人名 半角カタカナ 40 字以内で登録します

銀行番号 半角数字 4 桁で登録します。

銀行名 半角カタカナ 15 字以内で登録します。

支店番号 半角数字 3 桁で登録します。

支店名 半角カタカナ 15 字以内で登録します。

預金種目 ▼をクリックし、「普通預金」「当座預金」「その他」から選択します。

口座番号 半角数字 7 桁以内で登録します。

ファイル名 F B用データを保存する場所とファイル名を指定します。

例：C:¥FURIKOMI.TXT

❗振込1 / 2 / 3は同じファイルを指定できません。

❗ 振込先の各情報は、仕入先マスターの「振込先銀行」欄（銀行名・銀行番号・支店名・支店番号・口座番号・フリガナ）を使用します。文字種・桁数をご確認下さい。

銀行名・支店名 半角カタカナ 15 字以内

銀行番号 半角数字 4 桁

支店番号 半角数字 3 桁

口座番号 半角数字 7 桁

フリガナ 半角カタカナ 40 字以内



機能

設定情報保存[F7]

現在入力されている情報を保存します。

次回以降は保存された情報が画面に表示されます。

4 工事リスト（経歴書項目を含む）の書き出し

メインメニュー→ **工事受注**

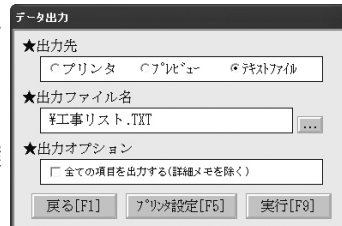
概要

工事リストのテキスト書き出しで、「工事経歴書」項目を含めた全項目が書き出し可能になりました。

操作

① 工事受注の基本登録画面で **検索[F2]** をクリックすると、登録工事が一覧表示されます。

② **印刷[F12]** をクリックすると、右のウィンドウが表示されます。



データ出力

★出力先
 プリンタ プレビュー テキストファイル

★出力ファイル名
工事リスト.TXT

★出力オプション
 全ての項目を出力する(詳細メモを除く)

戻る[F1] プリンタ設定[F6] 実行[F9]

③ 「出力先」より「テキストファイル」を選ぶと「出力オプション」が選択可能になります。

全ての項目を出力する（詳細メモを除く）

ON (☑) 詳細メモを除いた工事情報（工事台帳台帳形式と同じ）が出力されます。

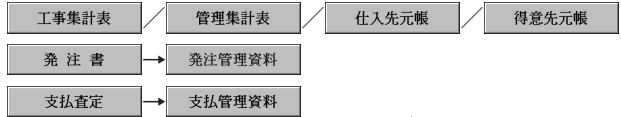
OFF (☐) 工事リスト（印刷）の内容が出力されます。

④ **実行[F9]** をクリックすると、テキストファイルが書き出されます。

● 「レッツ工事台帳 Pro 操作マニュアル」P.227を参照してください。

5 部門毎集計

メインメニュー→



概要

各種集計表に部門ごとに集計する機能が追加されました。集計する際に、部門範囲を指定した場合、1部門ごとに集計された結果を連続して表示印刷することができます。また、一部の集計表の条件に、部門指定が追加されました。

●部門集計機能が追加された集計表には条件指定画面の【詳細設定】に「部門毎に集計する」のチェックボックスが追加されています。

■対象集計資料

工事原価明細／工種・仕入先別予算実績／
工種・仕入先別原価推移／工事別仕入先集計／工事別科目集計／
工事一覧／工事別収支一覧／工事別予算実績一覧／出面集計／残高一覧／
仕入先別工事集計／売上集計／得意先別工事収支一覧／
担当・得意先別実績／科目集計／立替仕入明細／商品集計／
仕入先元帳／得意先元帳／発注管理資料／支払管理資料

操作

- 1 条件指定画面で「部門」を範囲指定します。

❗ 部門集計をする場合、部門の範囲指定が必須です。

- 2 詳細設定 をクリックします。

- 3 詳細設定画面で「部門毎に集計する」のチェックをON (☑) にし、承認[F9] をクリックします。

- 4 条件指定画面で 実行[F9] をクリックすると集計が開始されます。

⑤ 下のように部門ごとに集計されて表示されます。

工事原価明細書 表示						
部 門		DOBOKUBU 土木部		工事原価明細書 (日付順)		
工 事		A90037 井上龍男邸 新築工事		17/01/10 ~		
伝賃	日付	仕入先/得意先	科目	工種	品名/概要	数量
					*** 繰 越 ***	
	17/01/20	大塚設備工業	材料仕入高	基礎工事 共	墨出し	1
	17/01/20	大塚設備工業	仮設経費	基礎工事 外	内部脚立足場	1
	17/01/20	大塚設備工業	水道光熱費	基礎工事 経	工事用電力、用水費	1
	17/01/20	大塚設備工業	外注費	基礎工事 外	養生費	20
	17/01/20	大塚設備工業	雑費	基礎工事 他	清掃、片付け	20
	17/01/20	大塚設備工業	外注費	基礎工事 外	整地	1
	17/01/20	大塚設備工業	外注費	基礎工事 外	擁立基礎	30
	17/01/20	大塚設備工業	外注費	基礎工事 外	東建石設置	50
	17/01/20	大塚設備工業	雑給	木工事 共	大工手元	150

⑥ << で前部門、>> で次部門が表示できます。

条件指定項目

〔詳細設定〕


部門毎に集計する


ON (☑) 部門毎集計になります。
 ⓘ 条件指定画面での部門範囲指定が必須になります。


OFF (☐) 部門毎の集計は実行されません。

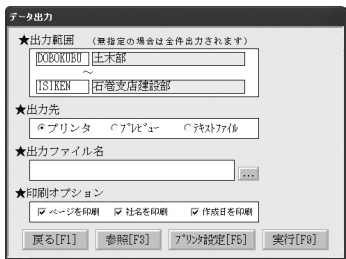
● 部門集計を行わない場合、ヘッダ部に部門は表示されません。

● 前部門がない場合に前部門ボタン [<<] をクリックすると「前部門はありません」、次部門がない場合に次部門ボタン [>>] をクリックすると「次部門はありません」と表示されます。

 部門集計の場合のみ表示され、クリックすると前部門（部門コードが直前の部門）を表示します。

 部門集計の場合のみ表示され、クリックすると次部門（部門コードが直後の部門）を表示します。

 部門集計で [印刷] ボタンを押すと、右のデータ出力画面が表示されます。



データ出力

★出力範囲 (無指定の場合は全件出力されます)
 |
 |

★出力先
 プリンタ プレビュー テキストファイル

★出力ファイル名

★印刷オプション
 ページを印刷 社名を印刷 作成日を印刷

出力範囲 部門の出力範囲を改めて指定可能です。ただし、最初の画面で指定した部門を超えて指定することはできません。

出力先

プリンタ 出力範囲で指定された順に印刷します。部門ごとに改ページされます。データがない部門は印刷されません。

プレビュー 印刷イメージが確認できます。

テキストファイル 部門コード昇順でテキスト出力します。

部門集計のできる集計表のテキストファイル書き出し順が変わりました。書き出し順は次のとおりです。

部門コード, 部門名, 工事分類コード, 工事分類名,
○○○, △△△, ……

(部門集計しない場合は、部門コード・部門名は出力なし、工事分類順にソートしない場合には、工事分類コード・工事分類名の出力なし。部門集計・工事分類順のソートいずれもしない場合は従来どおりです。)

6 工事分類順の出力

メインメニュー →

工事集計表

管理集計表

概要

集計条件に「工事分類」がある集計表に、出力順を「工事分類順」にする機能が追加されました。工事分類ごとに集計された結果を、連続して表示印刷することができます。

■対象集計資料

工種・仕入先別予算実績(工種別合計予算実績表) / 工事一覧 / 工事別収支一覧 / 工事別予算実績一覧

操作

- 出力順で「工事分類」を選び、**実行[F9]**をクリックします。

工種・仕入先別予算実績 条件入力

工種・仕入先別予算実績

出力帳票
 工種別予算実績表
 工種別予算進捗実績表
 工種別仕入先予算実績表
 工種別合計予算実績表

税区分
 税込
 税抜

進捗区分
 未成
 完成
 両方

受注区分
 両方
 元請
 下請

出力期
 工種
 工事分類

受注日 月 | ~ 月 |

完成予定日 月 | ~ 月 |

営業担当 | ~ |

工事担当 | ~ |

得意先 | ~ |

工事分類 | ~ |

工事 | ~ | グループ |

部門 | ~ |

戻る[F1] 参照[F3] 条件入力[F7] 実行[F9]

- 集計結果画面のヘッダ部に「工事分類」が表示されます。また、工事分類ごとに小計が表示されます。

工種別合計予算実績表 表示

部 門 00000000 00000000 工種別合計予算実績表

工事分類 00 電気工事

工種	見積金額	実行予算	原価	予算比	予算残	材料費	労務費
000 共通	200,000	200,000			200,000		
510 幹線設備 共	850,000	500,000			500,000		
511 幹線設備 材	1,820,000	1,400,000			1,400,000		
513 幹線設備 外	100,000	100,000			100,000		
514 幹線設備 程	100,000	100,000			100,000		
520 動力設備 共	300,000	300,000			300,000		
530 電灯設備 共	2,150,000	1,800,000			1,800,000		
540 照明器具 共	1,800,000	1,420,000			1,420,000		
550 電器設備 共	200,000	200,000			200,000		
560 汎用設備 共	850,000	500,000			500,000		
570 火災設備 共	1,820,000	1,180,000			1,180,000		
** 小 計 **	10,000,000	7,500,000			7,500,000		

見積金額 実行予算 原価 予算比 予算残

合計 211,300,002 185,387,155

材料費 労務費 外注費 諸経費 その他

戻る[F1] 前頁[F4] 次頁[F5] 印刷[F8]

- 次の工事分類に切り替えるには、**次頁[F5]**をクリックしていきます。



工事一覧を除いた工事分類順のソートができる集計表のテキストファイル書き出し順が変わりました。書き出し順は次のとおりです。

部門コード, 部門名, 分類コード, 分類名, ○○○, △△△, ……

(部門集計しない場合は、部門コード・部門名は出力なし。部門集計・工事分類順のソートいずれもしない場合には、従来どおりです。)

■工事分類順「工種別予算実績表」出力例 (50% 縮小)

工種	見積金額	実行予算	原価	予実比	予算残	原 価				
						材料費	労務費	外注費	諸経費	その他
工種別合計予算実績表										
受注日 ~										
会社名 レッツ建設(グループ) 税抜 Page 1 作成日 平成17年11月 9日										
工事分類 E2公共土木工事										
000 共通	30,000,000	21,000,000	8,473,842	40%	12,526,158	473,842		8,000,000		
021 土工事 材	30,000,000	21,000,000	19,500	0%	20,980,500	19,500				
** 小 計 **	60,000,000	42,000,000	8,493,342	20%	33,506,658	493,342		8,000,000		
工事分類 E 電気工事										
000 共通	4,800,000	4,700,000	4,572,380	97%	127,620		82,380	4,490,000		
510 幹線設備 共	680,000	500,000	90,000	18%	410,000				90,000	
511 幹線設備 材	1,820,000	1,400,000	1,149,859	82%	250,141	1,149,859				
513 幹線設備 外	130,000	100,000		%	100,000					
514 幹線設備 経	130,000	100,000	22,000	22%	78,000					22,000
520 動力設備 共	390,000	300,000	183,068	61%	116,932	64,988	95,970	22,100		
530 電灯設備 共	2,150,000	1,600,000	507,316	32%	1,622,684	228,906	278,320			
540 照明器具 共	1,900,000	1,430,000	380,000	27%	1,040,000	380,000				
550 電話設備 共	260,000	200,000		%	200,000					
560 テレビ設備 共	660,000	500,000	212,195	42%	287,805		212,195			
570 火災設備 共	1,620,000	1,180,000	378,245	32%	801,755		378,245			
** 小 計 **	14,500,000	12,000,000	7,495,063	62%	4,504,937	1,823,853	1,047,110	4,512,100	112,000	
工事分類 KA改装工事										
000 共通	3,200,000	3,900,000	1,033,200	26%	2,866,800			1,000,000		3,200
101 内装工事 材		1,000,000	810,000	81%	190,000	810,000				
103 内装工事 外	150,000	150,000	150,000	100%				150,000		
** 小 計 **	3,350,000	5,050,000	1,963,200	39%	3,086,800	810,000		1,150,000		3,200
工事分類 KB建築工事										
000 共通	56,436,761	48,590,933	48,283,742	99%	307,191	28,722,540	4,185,898	14,996,800		378,504
010 仮設工事 共	300,000	200,000		%	200,000					
011 仮設工事 材	1,050,000	980,000	560,000	57%	420,000	560,000				
012 仮設工事 労	1,300,000	1,350,000	1,818,385	135%	-468,385		1,818,385			
013 仮設工事 外	800,000	500,000		%	500,000					
014 仮設工事 経	100,000	30,000		%	20,000					
020 土工事 共	7,000,000	6,000,000		%	6,000,000					
021 土工事 材	6,455,700	4,819,900	3,545,000	74%	1,274,900	3,545,000				

7

仕訳伝票転記の設定追加

メインメニュー → 仕訳伝票転記 (→ 財務会計へ転記) → 設定



概要

「完成時に消費税を計上する」設定では、完成変換コードを登録している科目だけが未成仮受（仮払）消費税に転記されるようになりました。設定の詳細については、別紙「V7仕訳伝票転記訂正表」をご参照願います。

レッツ工事台帳 Pro V.7.3 追加操作マニュアル

初版 2005年12月15日

発行者 川嶋信雄

発行所 株式会社レッツ

〒989-6162 宮城県古川市駅前大通6丁目3-7

- 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ず、無断で複写・複製することは禁じられています。

©2005 Lets.Co.Ltd.